

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	イオンタウン有松		
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	愛知県名古屋市緑区鳴海町字有松裏200番地		
工場等の名称	イオンタウン有松		
工場等の所在地	愛知県名古屋市緑区鳴海町字有松裏200番地		
業種	卸売業、小売業		
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店		
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）		
事業の概要	ショッピングセンター		
計画期間	令和3年4月1日	～	令和6年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年4月14日 ～ 令和5年7月13日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所）イオンタウン有松 管理事務所
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-622-3339		

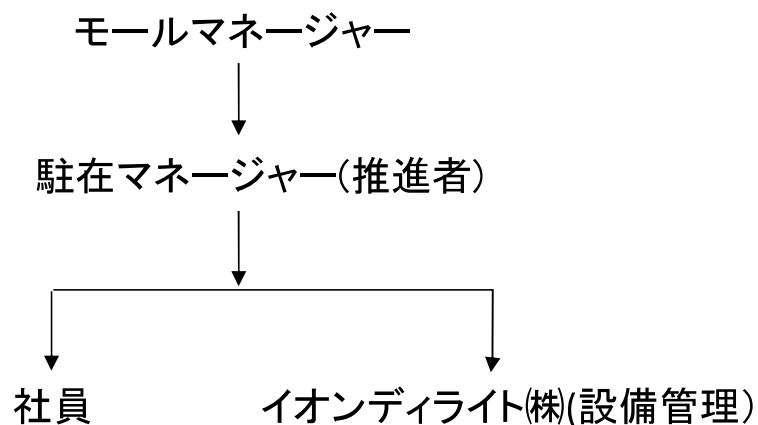
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、エネルギー使用の合理化に関する法律による活動と合わせて事業展開を実施します。

- ①省エネルギー活動の推進
電気、燃料等の営業時間あたりのエネルギー使用量を毎年1%削減する努力をします。
- ②従業員への環境教育の推進
環境目標を全員参加で取り組みます。
- ③廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,022	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	3,022	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
温室効果ガス総排出量	2,983	t-CO ₂	2,894	t-CO ₂	3,018	t-CO ₂	3,022	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 1.2	%	▲ 1.3	%	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%	%	%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
原単位あたりの排出量	0.4541	/ H r	0.4405	/ H r	0.4594	/ H r	0.46	/ H r	/ H r
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 1.2	%	▲ 1.3	%	%
原単位あたりのみなし排出量						/ H r	/ H r	/ H r	/ H r
削減率（対 基準年度）						%	%	%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

目標未達成 新型コロナの影響により、換気促進を行わざるを得ず、 換気用エネルギーの増加だけでなく、冷暖房負荷も増加したため。
--

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動実践 冷暖房	氷蓄熱設備の効率の良い運転のため点検・保守・管理を実施する パッケージエアコンの効率の良い運転のため点検・保守・管理を実施する		夜間製氷を厳守し、昼間2台の蓄熱槽を順番に使用し、蓄熱利用を徹底する。 パッケージエアコンは温度設定を、夏場は高め(24℃)、冬場は低め(20℃)にする。 故障の場合、可能であれば修理せ
省エネルギー・省資源の行動実践 冷暖房	空調フィルターの清掃等、空調機の効率の良い運転のための点検・保守・管理を実施する		屋外機フィン洗浄、屋内機フィルター洗浄を実施。 夏場は屋外機フィン冷却水吹付装置にて熱交換効率を上げる。 故障した冷却水吹付装置は直ちに直す。
省エネルギー・省資源の行動実践 照明	点内照明・看板照明等 点灯する時間帯を見直し、不必要な照明を消灯する テナント内照明等をLED照明器具等への切替を要請する。		日中日差しが入る駐車場の照明は点灯しない。明るさに応じた照明点灯のスケジューリング実施。 テナントの照明をLEDへ促進・切替。
廃棄物の排出抑制	一般ごみの減量化を図る		一般ごみ排出削減のための意識改善。
廃棄物の排出抑制	両面コピー、裏紙利用を促進し、コピー用紙の有効利用を図る		コピー機のストッカーに裏紙を蓄積し、裏紙利用を促進
廃棄物の再資源化	ごみの分別を実施する。 資源ごみの分別 再資源化		資源ごみ分別の徹底。 日常点検で分別ごみのチェックを実施し、分別されていない場合、テナントへの指導を行う。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 4 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 4 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--